

# はじめに

「写真」といえば出来事を記録にして思い出に残すという目的が一般的ですが、被写体を見て感じた気持ちを表現する芸術としての「写真」も存在します。

同じ花を見て色がキレイ、形がカッコイイと感じる人もいれば、茎がすらっと長くて素敵、光に透けた花びらがキレイなど、他の人と違った部分に魅力を感じる人もいるでしょう。人それぞれ感じる部分が違って当たり前ですし、それが個性なのです。その個性を表現するのが「写真」のおもしろさなんですね。

また、写真を通じて被写体から自分が何かを感じる部分を探し、いつも以上に観察することで普段見えなかつたものが見えてくるようになります。

このような新しい発見や出会いが生まれるのも「写真」の魅力のひとつです。

「写真」というツールを使って、無意識を意識できるようになると、世の中の見え方も変わってくるかもしれませんね。

写真家 並木 隆

写真はおもしろい！ ..... 4

# もくじ

## 基本編

タブレット PC で撮影してみよう	6
写真を撮るための 3 つのテクニック	8

## 図工・美術編

写生する風景の写真を撮ろう	10
自分で描いた絵を撮ろう	12
作品の作り方を撮ろう	14
完成した立体作品を撮ろう	16
水を使ったアートを撮ろう	18
光と空間のアートを撮ろう	20
暗い中で光の写真を撮ろう	22
動いている様子を撮ろう	24
友だちのポートレートを撮ろう	26
コマ撮り撮影に挑戦しよう①	28
コマ撮り撮影に挑戦しよう②	30



● この本は、Chromebook・iPadなどの端末での撮影を想定しています。

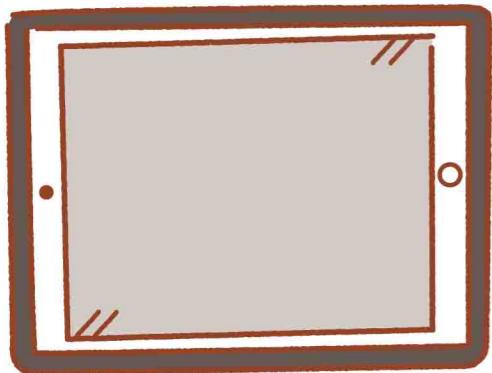


作品や小物を撮影するときの背景(壁紙)として使えます。本を立たせて、その前に作品を置いて撮影しましょう。

# タブレットPCで撮影してみよう

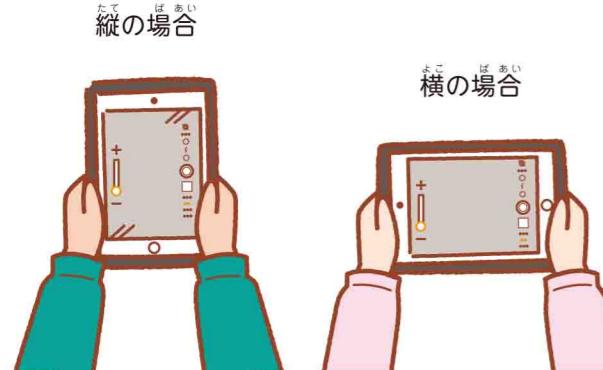
タブレットPCを持ったら、さっそく撮影してみましょう。基本的なことを学んだら、今度は、覚えておくと便利なこと、知っていたらもっとステキな写真撮影ができるプロのテクニックに挑戦しましょう。

## 1 タブレットPCの基本的な機能を知ろう

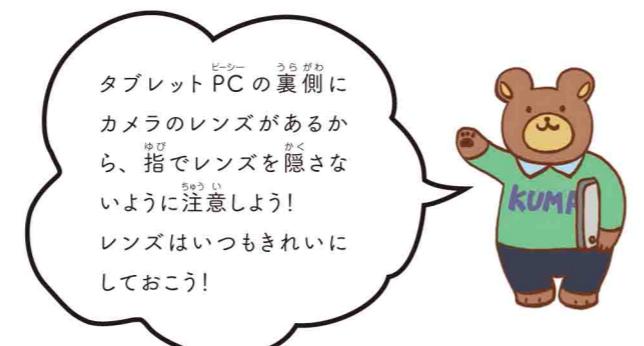


- タイマー：シャッターが切られるまでの時間を数秒後に合わせられる。「オフ」にしておけば、シャッターを押してすぐに写真が撮れる。
- 自撮り：このボタンを押せば自分の方を撮ることができます。
- シャッターボタン：このボタンを押せば写真が撮れる。
- ビデオ：動画撮影に切りかえるボタン。
- 写真：写真撮影に切りかえるボタン。

## 2 タブレットPCの持ち方



タブレットPCは人によって「重い」と感じるので、両手でしっかり持ります。



## 3 タブレットPCでの撮影方法

### ① カメラを起動させる

### ② ピントを合わせる

画面に撮影したいものが映った時に、画面のその部分をタップする（軽くさわる）と自動でピントが合います。

### ③ シャッターを押す

タブレットPCを片手で持つことになるので、画面がゆれたり、落としたりしないように注意しましょう。

### ● ピンチアウト（ズーム）する

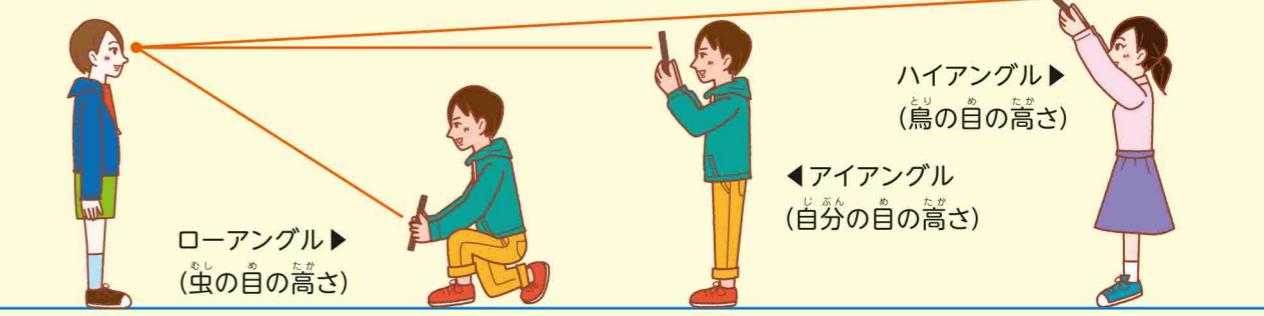


タブレットPCの画面に二本の指を置きます。二本の指が離れるように動かすとズームできます。これを「ピンチアウト」といいます。場所を移動せずに、主役を大きく写すことができます。ただし、ズームしすぎると画像が粗くなるので注意しましょう。



## 見る角度（カメラアングル）を変えて ステキな写真を撮ろう

カメラの角度や位置を変えて主役を撮ることはテクニックのひとつです。これをカメラアングルといいます。同じものを撮影しても、アングルが変わると被写体の見え方や背景が変わるので、試してみましょう。



低いところから見上げるようにして撮影します。普段見ている世界と違ったイメージの写真になります。

普段自分が見ている視点での撮影になります。一番イメージしやすい写真です。

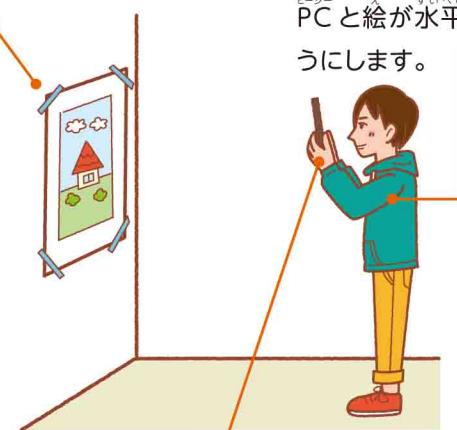
自分の目の高さよりも高い位置から、み下ろす撮影方法です。写す主役を絞り込んで見せることができます。

# 自分で描いた絵を撮ろう

完成した絵を撮影しておくと、もし飾るスペースがなくても残しておけますよね。だけど絵は、四方が少しでもゆがむと見づらい写真になってしまふので、注意が必要です。まっすぐな線を活かして撮影する方法を学びましょう。

## 壁にはって撮影

**ポイント①** 台紙の角にテープをはって自線の高さで固定します。



**ポイント③** タブレットPCの画面を見て、絵がまっすぐになっているか確認して撮りましょう。

床に置いて撮いたら影が出てしまう場合は壁にはって撮ります。そのとき、自分の自線の高さと平行になるようにして、はるのがポイントです。高すぎたり、低すぎたりすると、ゆがみの原因になります。壁の切れ目の線や、板の境目などまっすぐな線があればそれを目印にして、まっすぐにします。

## 床に置いて撮影

**ポイント②** 脇をしめて、タブレットPCと絵が水平になるようにします。



**ポイント③** 床に置いた絵と、タブレットPCが平行になるように撮ります。

床に置いて撮る場合に、一番気をつけたいのは、影です。せっかく完成した絵に、タブレットPCの影がかからないようにしましょう。撮影場所の天井にライトがあると影が出やすいので、少し離れて置いてみながら影にならない場所を探します。どうしても場所が選べない場合は、立った姿勢で絵からはなれて、ズームして撮影すると少し影は薄くなります。

## 水平に！そしてズームで撮る

絵を水平に撮ることが大切です。その時、絵の周りの床が同じ幅になるようにしましょう。また撮影範囲をほんの少し作品の内側にはいったところにして撮影すると、右下の完成写真のような仕上がりになります。少し歪みがあったとしても目立ちません。



手前から撮影。絵の上部がタブレットPCから遠くなつて小さくなり、台形のような形になつてしましました。



## あとから「編集」で仕上げることも！

絵の周りの床の部分が多くなつてしまったり、上下逆になつてしまふことがあります。でも大丈夫。タブレットPCの編集の機能で周りをカット(トリミング)したり、上下を元に戻すことができます。



周りが多くなつた!  
トリミング



上下逆になつた!  
回転・トリミング



完成！